

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業(復興関連事業)		担当部局	文部科学省	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度(第3次補正)～平成24年度		担当課室	生涯学習政策局 社会教育課	社会教育課長 坪田 知広			
会計区分	一般会計		政策・施策名	政策目標1 生涯学習社会の実現 施策目標1-3 地域の教育力の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災地の自律的な復興に向けて、住民一人一人が主体的に参画することのできる学びの場づくりを推進し、地域住民の学習・交流の促進、子供たちの成育環境の改善等を図ることを通じて、学びを媒介としたコミュニケーションの活性化や地域の課題解決の取組を支援し、地域コミュニティの再生を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被災地の市町村教育委員会等に、「地域教育コーディネーター」を配置し、学校、公民館等の社会教育施設、仮設住宅の集会所等を活用して、被災により離ればなれになった子供たちの集いの機会の提供や保護者の心のケア、地域住民に対する防災教育、仮設住宅での生活等により困難な学習環境にある子供の学習支援や居場所の確保など、地域の課題解決のための取組を支援する。また、同様に、被災地の総合型地域スポーツクラブに「地域スポーツコーディネーター」を配置し、地域におけるスポーツの場を提供する。これらを通じて、子供たちの教育環境の改善や地域住民の学習・交流の促進等を図り、被災地の地域コミュニティの再生を支援する。 ※平成24年度以降は、復興庁で一括計上し、文部科学省で執行している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		542				
		繰越し等		△ 425	425			
		計		117	425			
	執行額			107	410			
	執行率(%)			91.5%	96.3%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	地域課題の解決に向けた取組数		成果実績	取組数	-	316	818	-
	<small>上段:地域教育コーディネーターによる地域の学びの場の提供に係る取組数 下段:地域スポーツコーディネーターによる地域スポーツの場の提供に係る取組の実施回数</small>			実施回数	-	694	-	-
	達成度			%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域課題の解決に向けた取組を実施する地域数		活動実績 (当初見込み)	自治体数	-	30	52	-
	<small>上段:地域教育コーディネーターによる地域の学びの場の提供を実施する自治体数 下段:地域スポーツコーディネーターによる地域スポーツの場の提供を実施する地域数</small>			地域数	-	(37)	(37)	()
					-	31	-	-
				-	(35)	(-)	()	
単位当たりコスト	7,875.692(円/箇所)		算出根拠	地域教育コーディネーターによる地域の学びの場の提供 (409,536千円/52箇所)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	※23年度限りの経費(繰越分を除く)				
	計	-	-					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当事業は、東日本大震災からの復興の基本計画の「5章：復興施策、(2)節：地域における暮らしの再生、③項：教育の振興」に明記されている優先度の高い事業であり、地方や民間が個別に行うものではなく、国が総合的に推進していく必要がある。また、効率的な事業の実施により適正な予算の執行が行われている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定は、企画競争により行い、都道府県等からの実施計画を審査委員会が審査しており、選定の妥当性や競争性を確保している。また、費目や使途が事業目的に即した必要なものに限定されるよう、対象経費の範囲やどのような取組に活用できるのかなどをQ&A形式で示し、委託先に適切かつ合理的な支出を促し、単位あたりのコストの削減に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	地域コミュニティ全体の再生につながるよう、原則として地方公共団体向けの委託事業としており、実効性の高い事業である。また、被災地の自律的な復興に向けて、地域住民のボランティア参画による取組としており、低コストで実施できている。岩手、宮城、福島県等の被災地において、課題解決に向けた取組が着実に実施されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検結果	<p>本事業により、被災により離ればなれになった子供たちの集いの機会の提供や保護者の心のケア、地域住民に対する防災教育、仮設住宅での生活等により困難な学習環境にある子供の学習支援や居場所の確保など、地域の課題解決のための取組が行われ、これらを通じて、子供たちの教育環境の改善や被災地の自律的な復興に向けた地域コミュニティの再生が図られている。</p> <p>被災の特に激しかった地域等では、人材や活動場所の不足などから、依然として実施できていない地域や立ち上がったばかりの取組もあり、被災地自治体の要望等を踏まえつつ、地域の実情やニーズに応じた取組を充実できるよう努める必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>本事業は、被災地における学びの場づくりを推進し、地域住民の学習・交流の促進、子供たちの育成環境の改善等を図り、もって地域コミュニティの再生を図ることを目的としており、事業自体の必要性は高いものと認められる。平成24年度以降は復興庁一括計上予算として措置されているが、復興庁の公開プロセスにおけるとりまとめ結果等を踏まえ、引き続き被災地のニーズに的確に対応するなど、適切な予算執行に努めていくべきである。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
平成24年以降は復興庁に一括計上。						
・学校と地域でつくる学びの未来 http://manabi-mirai.mext.go.jp/other/revive.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	復興-0011	平成24年	復興庁:0025 文部科学省:0066

文部科学省
<410百万円>

[企画競争 委託]

(A)地方公共団体(全6機関)
<410百万円>

〔事業推進委員会の実施、地域教育コーディネーターの配置等〕

[再委託]

(B)市町村(全63機関)
<305百万円>

〔事業推進委員会の実施、地域教育コーディネーターの配置等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

<宮城県のケース>

文部科学省

[企画競争 再委託]

(A)宮城県
<166百万円>

[再委託 19市町村 163百万円]

(B) 南三陸町 <10百万円>	大崎市 <10百万円>	気仙沼市 <8百万円>	石巻市 <8百万円>	角田町 <7百万円>	蔵王町 <6百万円>	塩竈市 <6百万円>	川崎町 <6百万円>	...
------------------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-----

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.宮城県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
再委託費	19市町村 学び支援コーディネーターの謝金等	163			
謝金	総括コーディネーターの配置等	2			
その他	総括コーディネーター旅費、借損料等	1			
計		166	計		0
B.南三陸町			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	学び支援コーディネーター・講師等謝金	4			
借損料	生徒移動用バスの借料	3			
旅費	学び支援コーディネーター・講師等旅費	2			
その他	消耗品等	1			
計		10	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 事業推進委員会の実施、地域教育コーディネーターの配置等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城県	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	166	企画競争	—
2	仙台市	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	112	企画競争	—
3	岩手県	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	66	企画競争	—
4	福島県教育委員会	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	53	企画競争	—
5	いわき市教育委員会	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	9	企画競争	—
6	盛岡市	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	3	企画競争	—

B. 事業推進委員会の実施、地域教育コーディネーターの配置等

※再委託

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	南三陸町	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	10	—	—
2	大崎市	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	10	—	—
3	気仙沼市	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	8	—	—
4	石巻市	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	8	—	—
5	角田町	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	7	—	—
6	蔵王町	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	6	—	—
7	塩竈市	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	6	—	—
8	川崎町	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	6	—	—
9	東松島市	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	5	—	—
10	栗原市	地域教育コーディネーターの配置、学びを通じた地域コミュニティ再生のための取組	5	—	—